

新たな経営体制により、持株会社としての役割と機能を強化し、事業会社へのサポートとモニタリング、最適な資源配分を進め、中長期的な企業価値向上と持続的な成長の実現を目指します。

当社グループ経営方針

「信頼と誠実」「変化への対応と基本の徹底」

目指すこと

- お客様のライフステージ・ライフシーンに寄り添いながら、商品・サービスの提供を通じて、くらしの利便性を高める
- 地域になくってはならない親しみのあるグループ

すべきこと

- お取引先様・世の中の技術革新など、あらゆるリソースを活用
- 商品・サービスの絶対的価値、顧客満足度最大化の追求

中期経営計画の概要

2020年2月期 営業利益4,200億*

- 1.日米コンビニエンスストア(CVS)事業を成長の柱とし、経営資源を集中させる
- 2.エリアと業態の「選択と集中」を進める
 - ①エイチ・ツー・オー リテイリング(株)との資本業務提携の基本合意書の締結、(株)そごう・西武関西店舗承継、首都圏基幹店への資産集中
 - ②(株)イトーヨーカ堂：首都圏、食品事業への重点化の検討開始
- 3.総合スーパー・百貨店再生に、不動産再開発の視点を取り入れる
- 4.オムニチャネル戦略の見直し
顧客戦略の観点で、顧客生涯価値に重点化
- 5.来春を目処にマネジメントアプローチの観点でセグメントを見直す

※2019年4月数値目標見直し

財務戦略

設備投資

事業毎目標とするROAを達成すべく、
規律ある投資を実行

- ポートフォリオコミティで投資効率を精査
- 成長事業へ傾斜配分(北米CVS事業はM&Aも検討)
- 構造改革事業は既存店活性化へ

資金調達

AA格の格付維持を前提としつつ

- 成長戦略による資金調達が必要な場合は有利子負債を調達
- 金融の成長も見込むため、D/Eレシオ0.5倍程度は許容

株主還元

「利益向上に見合う株主還元」を基本方針とし、連結配当性向は40%を維持向上

- 成長事業投資とのバランスを勘案しつつ柔軟な資本政策とする